

令和元年度 第1回太田市公共事業入札等監視委員会 委員コメント

小川委員長

上半期の入札契約状況の概況に加え、3件の内容審査を行いました。

北中学校区の義務教育学校の新築工事、市内小中学校の設備工事、太田市運動公園陸上競技場建設工事の3件です。

くじ引きの割合が全体に低下しているということで、特に建築でくじの割合が減少していて、不調の案件も出ているということです。民間の需給状況にもよるところでしょうが、積算や発注方法の工夫について引き続き努力を続けていただければと思います。

田島副委員長

令和元年度上半期入札契約状況は、契約件数は対前年比89パーセントですが、落札金額では、172パーセントと対前年比72ポイント上昇しましたが、その原因は「（仮称）太田市立北中学校区義務教育学校校舎新築建築工事」の落札金額によるということでした。児童数の恒常的減少による学校経営の円滑化に対応した事業ということで、少子化による学校区の統合事業ですが、大規模工事ですので、既存校舎の有効活用に期待致します。

随意契約となりました太田市運動公園陸上競技場建設工事は、「競技者が利用しやすく、誰もが観戦しやすい施設」を基本コンセプトに施設整備をすることを目的としています。限られた財源の中から、市民福祉の増進を図ることを基本としている地方公共団体は、最小の投資で最大の効果を実現すべき役割を担っています。今後も公正性、公平性、透明性を損なうことなく、且つ経済性を確保しながら、機会均等の理念を保持していただきたいと思います。

大谷委員

令和元年度上半期の入札は適正になされていると思いました。各種整備工事において、不調に終わったものがあつたので、予定価格の見直しも必要であると思いました。

今回、特定建設工事共同企業体による大規模工事案件の入札、落札状況についての説明がありましたが、公共企業体の取り扱い要綱もはっきりしており、適正な工事を期待できるものと思います。

今後も、公正性・公平性・透明性を損なうことのない適正な入札執行の徹底、特に随意契約の透明性の担保を継続して行うことを期待しています。

下山委員

今回の案件は、学校関係の工事の審査があり、子育て中の私にとっても聞きやすく入り込みやすい審査でした。

やはり気になるのは、工事中の児童・生徒たちの学校での居心地の良さと多感な時期の子供たちにとっての環境を第一にと意見させていただきましたが、万全な施工体制をとっているとの回答があり、安心しました。

他県他地区の知人・友人から『太田市は子育てしやすい街で羨ましい』と良く言われます。

自分も太田市で育ち、子供を育てるにあたりたくさんの支援を頂いております。

足早に変化する時代に、必死について行かなければならない子供たちの為に「太田に生まれてよかった」と思ってもらえるような案件が増え、今後も曇りのない工事が進むことを祈ります。